

◆◆関東地方整備局の動き◆◆

1. 平成24年度建設技術フォーラムの出展技術募集のお知らせ

建設技術や建設技術の開発・活用の取り組みについて情報を発信し、公共事業に係る技術者の知識の習得及び技術の向上を目的として開催しますのでお知らせします。

開催日時 平成24年11月8日(木) 10時30分～17時00分

平成24年11月9日(金) 10時30分～16時00分

開催場所 さいたま新都心合同庁舎1号館

平成24年度建設技術フォーラムの開催にあたり、建設技術発表及びポスターセッション・パネル展示を希望する技術を募集しますのでお知らせします。

今年度のテーマは、「大地震への備え」と「今後の社会資本整備に資する技術」と題して、各分野の技術の発表を行います。

●募集内容 「建設技術発表会」及び「ポスターセッション・パネル展示」を行う技術

●募集分野

(1)地震に備える技術

(2)震災復旧・復興に資する技術

(3)情報化施工技術

●募集期間 平成24年8月10日(金)まで

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku_00000037.html

2. 国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰の募集を開始します。

「国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」は、国土交通分野におけるバリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人又は団体を表彰し、優れた取り組みについて広く普及・奨励することを目的として、平成19年度に創設された表彰制度です。今般、第6回の募集を開始しますのでお知らせします。

■応募資料提出先

整備局関連

関東地方整備局企画部企画課

〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1 さいたま新都心合同庁舎2号館

運輸局関連

関東運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課

〒231-8433 神奈川県横浜市中区北仲通5-57 横浜第二合同庁舎18階

■応募締切日

平成24年8月27日(月)必着

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku_00000043.html

3. 平成23年度優良工事等局長表彰について

関東地方整備局では、平成23年度に完成した工事、完了した業務の中で特に優れた成績を収めた工事、業務、技術者等について、平成23年度優良工事等表彰式を平成24年7月12日に執り行いましたので、お知らせします。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku_00000042.html

4. 燃料運搬・貯蔵の支援に関する協定について（公告）

東日本大震災において燃料供給体制が混乱し、災害復旧に支障が生じた経緯を受け、今後発生が予想される首都直下地震等の大規模地震の発生時に、国土交通省関東地方整備局管内において必要な燃料の運搬、貯蔵支援を行い、円滑な災害復旧に資することを目的に本協定を行える事業者を募集いたしますのでお知らせします。

応募頂いたのち、公平性等に留意するとともに、災害発生時に即時対応可能な地理的条件を有し、また一定の設備規模を有する事業者を選定し、協定を締結します。

- 【応募期間】平成24年7月23日～平成24年8月22日 18時00分まで

【書類配布】関東地方整備局企画部施工企画課もしくは同局公式ウェブサイト

(URL : <http://www.ktr.mlit.go.jp/bousai/index.html>)

【内容】大規模地震が発生した際に、下記業務のうち、いずれか一つ以上の業務を遅滞なく遂行できる者。

- (1) 燃料供給元（政府調達、元売り等）からの燃料運搬。
- (2) 燃料貯蔵タンクの提供。
- (3) 燃料貯蔵タンクから必要とする場所への燃料小運搬。

※協定に必要な応募資格等については公告資料等を確認願います。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/kikaku_00000047.html

5. 関東地域における道路冠水注意箇所マップ

関東地域の異常な集中豪雨時に冠水する可能性があるアンダーパス部における事故防止を図るため、「道路冠水注意箇所マップ」を公表しますのでお知らせします。

「道路冠水注意箇所マップ」は、車道部がアンダーパス構造となっており、集中豪雨時において冠水する可能性がある箇所についてとりまとめたものです。

通常の降雨では支障ありませんが、短時間の異常豪雨で雨水が急激に集中し、ポンプなどの排水能力を超えた場合、一時的に水が溜まる可能性があり、交通に支障を来す恐れがある箇所をいいます。異常な集中豪雨が発生した時は、視界も悪く危険なため、一時的に通行を控えていただくか、やむをえず通行する場合には、冠水に十分注意してください。

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/road/bousai/road_bousai00000001.html

6. 第31回川の写真コンクール開催

川の写真コンクールは、河川愛護月間※の一環として、河川愛護思想の普及と啓発をはかるため、関東地方整備局管内の小学生、中学生及び高校生を対象に、川の写真を募集しますのでお知らせします。

※河川愛護月間とは、河川愛護の意識の醸成を目的とし、河川の安全で適切な利用、管理の促進や、良好な河川環境の保全・再生を推進するための活動等を行うもので、毎年7月に実施しているものです。

■応募期間 平成24年7月1日～9月14日(必着)

詳しくは、関東地方整備局ホームページでご覧いただけます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/road/bousai/road_bousai00000001.html

◆◆国土交通本省の動き◆◆

1. 地方公共団体における耐震改修促進計画の策定予定及び耐震改修等に対する補助制度整備状況について

地方公共団体における建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条に基づく耐震改修促進計画の策定予定と、耐震改修等に関する補助制度の整備状況について平成23年4月1日現在の状況を公表致しましたが、そのフォローアップ調査として、平成24年4月1日現在の状況を次の通り取りまとめましたので、公表いたしますのでお知らせします。

なお、地方公共団体に対しては、引き続き積極的な取り組みを要請することとしています。

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/house05_hh_000329.html

2. 平成23年度国土交通白書について

平成23年度国土交通白書については、平成24年7月6日の閣議で配布、公表されましたので、お知らせいたします。

詳しくは、国土交通省ホームページでご覧いただけます。

<http://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h23/index.html>

3. 平成24年度「手づくり郷土（ふるさと）賞」の募集開始について

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、今年度で27回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を一体の成果として発掘し、「手づくり郷土賞」として表彰するとともに、好事例として広く紹介することにより、各地で个性的で魅力ある地域づくりに向けた取組が一層推進されることを目指し実施しています。つきましては、平成24年度の「手づくり郷土賞」の募集を平成24年6月29日から開始しましたので、お知らせします。

■募集開始 (平成24年 6月29日)

■募集締め切り (平成24年 9月 3日)

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000034.html

4. X R A I N（XバンドMPレーダネットワーク）の利活用促進について

近年、増加する集中豪雨や局所的な大雨（いわゆるゲリラ豪雨）による水害や土砂災害等に対して、適切な河川管理や防災活動等に役立てるために、国土交通省では、局所的な雨量をほぼリアルタイムに観測可能なXバンドMPレーダの整備を進めています。

1. 平成24年7月12日から中ノ口局（新潟県燕市）による一般配信を開始し、新潟地域の雨量観測体制を強化しましたのでお知らせします。

<http://www.river.go.jp/xbandradar/>

2. また、今後、より多くの方に知って頂き、利活用して頂けるよう、XバンドMPレーダネットワークを『X R A I Nエックスレイン』の名称で呼ぶこととしましたので、お知らせします。

3. X R A I Nは既に様々な分野で利活用が始められていますので、その利活用状況についてあわせて紹介します。

詳しくは国土交通省ホームページでご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000523.html

政策広報「関東の窓」第73号

◆◆地域の動き◆◆

千葉外かん事業地域交流イベント
～福島震災復興支援～

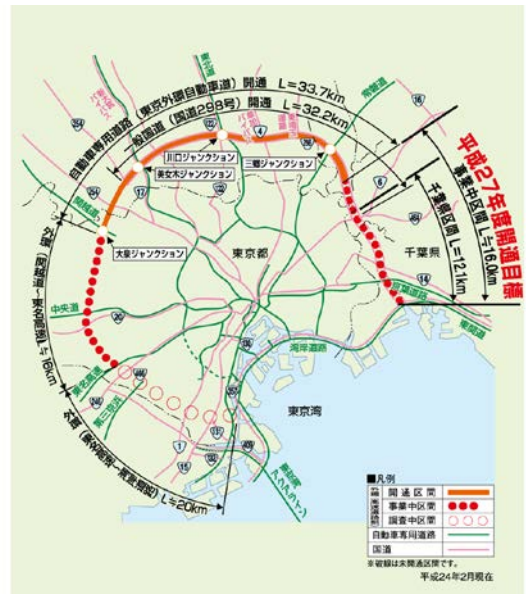
国土交通省 関東地方整備局 首都国道事務所

◆はじめに

当事務所は、東京都（国道6号、14号、357号）及び千葉県（国道298号）の道路整備事業を担当しています。

なかでも、国道298号（東京外郭環状道路、通称「外環」）は、都心から半径約15kmの地域を環状に結ぶ幹線道路で、首都圏の渋滞解消に大きな役割を果たす3環状道路のひとつです。

当事務所は、外環の千葉県区間（千葉県松戸市小山から同縣市川市高谷）の延長約12.1km区間の整備を担当しており、平成27年度の開通を目標に、用地取得や工事を進めています。



◆イベントの目的

今回のイベントは、工事にご協力頂いている市川市内の地域を始めとする皆様と交流する機会を作るため、千葉外かん工事安全協議会が主催し、事業者（当事務所、東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所）が協賛、市川市役所と市川商工会議所の協力の下、企画されたものです。

具体的には、千葉縣市川市新田2丁目の外環事業用地内で、ステージを設けて、演技を披露して頂く団体や地元商店にブースへの出展を呼びかけました。その結果、多数の方にご協力頂けることになりました。

併せて、1年前の東日本大震災で被害に遭った、福島県の復興支援のため、福島県内の道の駅に出展を呼びかけたところ、7カ所の道の駅が参加して頂くことになりました。

◆イベントの実施状況

イベントは、6月24日（日）に開催されました。

ステージでは、地元市川市の平田小学校・第八中学校の吹奏楽部の演奏、平田子ども会の和太鼓演奏が披露された他、千葉県幕張市から MAKUHARI・ミルキートワラーズのバトン演技や福島県会津市の郷土伝統芸能である白虎隊踊りの演舞で会場が盛り上がりました。

また、地元商店の自慢の飲食物や商品が販売されるとともに、福島県の道の駅7店が名産品を販売し、多くの人で賑わいを見せていました。

併せて、外環事業の工事の進捗状況等のパネル、東日本大震災の復旧状況のパネルを展示するとともに、福島県各地の観光パンフレットが配布され、多くの人々に関心を示して頂きました。



【平田小学校吹奏楽部の演奏】



【平田子ども会の和太鼓演奏】



【福島県「道の駅」が物産販売】



【外環事業の PR コーナー】

◆おわりに

イベントは、約2,500人の方々に来場して頂き、盛況のうちに終了しました。

外環事業を通じて、市川市と福島県の方々との地域を越えた交流の機会ができたことをうれしく思いました。

また、外環事業に対する皆様の期待を感じることができ、事業者として励みになりました。

今後も、地域の皆様を始めとした、多くの方々のご理解とご協力を賜りながら、外環事業の早期開通に向け、事業者や関係機関等が一丸となって推進して参ります。